

# 烏丸通まちづくり協議会 ニュース・レター

## ～設立記念創刊号～

平成 25 年 2 月発行

烏丸通まちづくり協議会の会員様向けに、ニュース・レターを発行します。

### 烏丸通まちづくり協議会の設立総会が開催されました

昨年末 12 月 25 日に、烏丸通まちづくり協議会設立総会が、からすま京都ホテル山水の間にて開催されました。当日は、年末の慌ただしい時期にも関わらず、会員 39 名、来賓 6 名の方々にご出席いただきました。総会では 8 者の役員が選出され、幹事の互選により株式会社長谷本社代表取締役社長谷幹雄氏が、烏丸通まちづくり協議会会長に選任されました。



当日出席された会員と来賓の皆様で集合写真を撮影しました。  
(撮影者:中田ビル 中田英博氏)

また、烏丸通まちづくり協議会の前身組織の烏丸通沿道懇談会から、寄付金をいただきました。



懇談会の渡部座長より、激励のお言葉と共に、寄付金の目録を贈呈いただきました。



特別会員でもある、京都府立大学の宗田教授にご挨拶いただきました。



京都市の小笠原都市計画局長にご挨拶いただきました。

いよいよ協議会の活動がスタートしました。今後、烏丸通が賓客を迎えるにふさわしい通りとなることを目指し、皆様と共に様々な取組を行って参ります。



設立総会中の様子。皆さん、説明に聞き入っておられます。

### リレーコラム「私と烏丸通」

烏丸通まちづくり協議会の会員の方のご紹介も兼ねて、毎号リレーコラムを掲載します。烏丸通について、日々の感想、思い出などを綴っていただきます。第 1 号は、烏丸通まちづくり協議会の長谷会長です。

私どもがこの烏丸通の近くで事業を始めましたのが昭和 28 年頃で、当時は呉服卸業でした。その後、オフィスビルやマンションの事業を拡大し、現在の烏丸通を中心とした都市空間の創造に関わる企業へと変貌を遂げて参りました。

京都にメインストリートは必要ないのでしょうか。私は烏丸通を歩いていますと一寸情けなくなります。それは烏丸通が京都のメインストリートと思っているからです。我々が誇をもってそして歩きたくなる様な通りにするにはどうすれば良いのでしょうか。皆様と侃侃諤諤の議論をし、アイデアを出し合いながら、未来の烏丸通りのことを考える、こんなに楽しい事はないと思っています。



株式会社長谷本社  
代表取締役社長  
長谷 幹雄氏

## 第1回幹事会が開催されました

2月1日に、第1回烏丸通まちづくり協議会幹事会が開催されました。  
幹事会では、各役員が事業のアイデアを持ち寄り、事業内容や進め方などについて議論を行いました。  
今後、事業詳細や専門部会の設置などについて更に検討し、会員の皆様と共に活動を行っていきたくと考えておりますので、その際は、皆様のご協力をお願いします。



幹事会の様子

## 烏丸通の中央分離帯にケヤキ等が植えられます

京都市では、烏丸通を緑豊かな美しい本市のメインストリートとするため、丸太町通から塩小路通の区間において、緑の道路環境の創出と自転車通行環境の改善に向けた取組を進めています。  
今年度は烏丸通の丸太町通から御池通の区間で、中央分離帯へのケヤキ等の植栽工事等が行われます。



烏丸通の植栽イメージ

## 新風館前に京のわらべ歌が流れる観光案内標識が設置されます

京都市では、「歩いて楽しいまち・京都」の実現に向け、観光案内標識のアップグレードを進めています。  
3月中旬に、烏丸通の新風館前(烏丸姉小路下ル東側)に、ゼンマイにより発生させた電力を用いて、京のわらべ歌が流れる「地上機器を利用した案内サイン」が設置されます。



御池通に設置されている同型の案内標識

## 烏丸再発見！

烏丸通の豆知識、トリビアなどをご紹介します。皆さまからの情報もお待ちしています。

### 「烏丸通の歩道街路樹をユリノキに植え替えているのはなぜ？」

京都市における近代的な街路樹は、今から100年前の明治45年(1912年)に福羽子爵が大森京都府知事に贈ったユリノキを、烏丸通(京都駅~丸太町通)に植えたのが始まりとされています。その後、管理のしやすさ等から、スズカケノキが植えられましたが、近年大発生している特有の虫害や、老朽化等により、植替え時期を迎えています。そこで、烏丸通の歩道街路樹を、スズカケノキから、京都の近代街路樹のスタートとなったユリノキに再生する取組が進められています。



チューリップに似たユリノキの花

## 会員募集中！

烏丸通まちづくり協議会では、新規会員を随時募集中です。  
ぜひ、お知り合いをご紹介ください。

### 《編集後記》

京都では「烏丸」はよく知られた名前ですが、全国的な知名度はまだ低く「とりまる」と読む方もいるそうで、幹事会では「烏丸」の読みにくさを逆手に取ったPRができないかというご提案がありました。恥ずかしながら、私もかつて、烏と鳥の区別がつかず、「烏丸」と書いてなぜ「からすま」と読むのか疑問に思っていました。最近「おいしい、広島県」など、マイナスイメージを逆手にPRする自治体も増えています。「烏丸」もおもしろいPRができないかと思いがちながらうかがいました。(担当：U)

### 《烏丸通まちづくり協議会事務局》

京都市都市計画局都市企画部都市づくり推進課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

電話番号：075-222-3503 (受付時間：9時~5時(土日祝日を除く)) / FAX：075-222-3478 / Eメール：todu@city.kyoto.jp